

午後三時ヨリ當廳調停課ニ於テ會社側社長萩野特治 清算人
宮下巖 爭議團側徳永正報外四名會見レ別記ハ具体案ニヨリ
交渉ヲ進メ全第二項ノ宮下清算人ノ提案ニヨリテ惡意ヲ以テ
ノ四字ヲ加フルコト、シタルカ全第三項ハ會社側カ至滯上ル
見地ヨリ

ハ爭議團解散費用ヲ二百五十円

ハ寄宿徒身解散ノ爲メ三百五十円支出

ハ工場再開ニ至ル迄ノ手當支給セス

ヲ主張シテ譲ラサル爲解決ニ至ラス双方考慮ヲ約シテ會見ヲ
終レリ

ニ六月廿二日ノ會見状況

自午後一時ヨリ前記ノ場所ニ於テ全様代表者會見シ宮下ヨリ
前日不調ニ終リタル費用ノ問題ニ関シ會社ノ窮狀ヲ説明シテ
是非ハ爭議團解散費用並寄宿徒身ノ解散費用ヲ合シテ一千円

位ニテ兼知サレタレト述ヘタルカ爭議團側ハ既ニ爭議期間ニ
四十日ヲ超過シ高十八名ノ徒身ヲ帰國セシムル費用ヲ合セ一
千円位ニテハ倒産満足シ得スト主張シ双方譲歩セズ交渉行詰
リノ状態ニ陥リタルカ双方ノ懸隔僅カ二百円迄増付ケタルモ
ノヤルヲ以テ何トカ妥協ノ余地アラント課員ノ勸告ニヨリ交
渉ノ余地ヲ残シテ翌二十三日函會スルコト、シテ會見ヲ打切
レリ

三 解決条件

六月廿三日自午後一時ヨリ前記ノ場所ニ於テ係官ノ斡旋ニ
ヨリ會見交渉ノ結果休業中ノ手當及徒身解散費用トシテ現金
ヲ以テ一千円及賣掛空收金中ヨリ七百円計一千七百円ヲ支給
スルコト、シテ妥協成立スルニ至リ別記ハ覺書ノ条件ニヨリ

円滿解決セリ

右及申(通)報候也